

# 資料委員会

[所員] 関口博巨 昆 政明 後田多敦 角南聡一郎 道用大介 丸山泰明

## 資料委員会の活動概況

関口 博巨

神奈川大学日本常民文化研究所（以下「常民研」）では、①古文書（古文書の原本およびマイクロフィルム複写）、②漁業漁村資料（筆写稿本）、③常民研運営資料（財団引継資料・宇野脩平資料・河岡武春資料・民族学振興会資料）、④絵画資料、⑤写真映像資料（アチック写真・横浜写真・映像）、⑥民俗資料（製作資料・収集資料）などの資料を所蔵している。このうちの一部は、「神奈川大学デジタルアーカイブ」、研究所 Web サイトの「絵画資料デジタルコレクション」にも公開されている。資料委員会では、毎月定例会議を開催し、資料の収集・保管・整理・公開・展示など、所蔵資料全般に関する諸問題について協議している。

常民研では、2021～2025 年を創立 100 周年の記念年間ととらえ、シンポジウムや出版などのさまざまな記念事業を行うとともに、これからの 100 年を見据えて博物館機能の強化に努めている。

今回の年報では、資料委員会の活動概況を、1. 資料収集、2. 利用申請、3. 所蔵資料・所蔵図書利用規程の検討、4. 所蔵資料の整理に絞って紹介することにしたい。

### 1. 資料収集

2020 年度から続いた渡部つとむコレクション（会津民俗館の渡部つとむ前館長のコレクション）の受け入れは、今年度（2022 年度）をもって完了した。受け入れにあたって中心的な役割を果たしたのは昆政明所員であった。



写真1 松村雄介石造物資料 写真アルバム 431 冊のうち 151 冊を保存修理した



写真2 常設展示「布とくらし」コーナーに出品資料した手ぬぐい (120 点)

## 2. 利用申請

コロナ禍により資料利用の申請は極端に減少していたが、昨年度（2021年度）に続いて今年度は、さらに資料掲載や資料貸出の申請件数が増加した。資料委員会では、後掲データの利用申請について、それぞれ審議を行った。

## 3. 所蔵資料・所蔵図書利用規程の検討

2023年3月、常民研は博物館法第29条の規定に基づく「博物館に相当する施設」として指定された。指定に先立って、博物館機能を強化すべく、資料の収集管理要綱、所蔵資料・所蔵図書利用規程などについて検討した。

## 4. 所蔵資料の整理

民俗資料は、2022年4月28日～5月6日に民俗資料収蔵室全体の燻蒸をおこなった。整理

状況は、4～9月に①松村雄介石造物資料のうちアルバムの保存修理（151冊）②小絵馬の注記（277点）、8～10月に③八木家商家の民具のクリーニング（棚7AB列・8C列・衣類／12箱）、11～1月に④渡部つとむコレクション493点の受入れ及び2020・2021年度に受入れた資料を含め延べ1,283点の総点検をし、1～3月には、常設展示出品資料と連動させ⑤仕事着のひな形資料の撮影（145点）⑥八木家商家の民具のうち衣類（12箱）の注記と学生服／前掛けの撮影（10点）⑦手ぬぐいの注記・撮影（120点）を優先的におこなった。（海藤里恵・呉珂・田中結菜・加藤友子）

2022年8月には、国際日本学部歴史民俗学科の授業の一環で、所蔵資料を材料に古文書の目録取りや写真撮影の体験学習を行うとともに、学生アルバイトによる作業の継続をはかった。



写真3 古文書のデジタル写真撮影

## ■ 2022年度 所蔵資料関連データ

### 【展示】

- 「海洋都市横浜 うみ博 2022 ～見て、触れて、感じる 海と日本 PROJECT～」への和船模型出展とワークショップの開催 2022年8月6日～7日 横浜市役所アトリウム
- 神奈川大学日本常民文化研究所展示室が「常民文化ミュージアム」としてリニューアルオープン 2023年3月13日 横浜キャンパス3-103 ミュージアムコモンズ

### 【資料掲載】

- 「首里城ノ図」（琉球沖縄本島取調書）を、石井龍太他2022『首里城正殿の屋根2022』展示図録 法政大学沖縄

#### 文化研究所へ掲載

- 足利義栄御内書（二神司朗家文書）を、天野忠幸 2022「三好長慶と足利義維・義栄親子」『特別展 堺と武将——三好一族の足跡』堺市博物館へ掲載
- 「粉河寺縁起」を、2022 シリーズ宗教と差別 3『差別の地域史——渡辺村からみた日本社会』法蔵館へ掲載
- 『紀年銘（年号のある）民具・農具調査等——西日本——』口絵「京屋の唐箕」を、木村裕樹 2022「第3章 非文字資料のそれぞれと入手方法」『食の資料探しガイドブック』昭和堂に転載
- アチック写真4点を、2022『奥南部漆物語』ハンドブック日本遺産奥南部漆物語推進協議会へ掲載
- 古文書修復講座実習状況写真を、平田茉莉子 2023「古文書の保存管理と活用～日常的管理から下張り文書まで～」『古文書の取り扱い——ヒヤリハットから学ぶ博物館の資料管理——』東京都三多摩公立博物館協議会講演資料へ掲載
- 「四季耕作子供遊戯図巻」を、2023『高等学校 日本史探求』清水書院へ掲載（デジタル教科書含む）
- アチック写真2点を、加藤幸治 2023「民具と民藝の100年」、濱田琢司・吉田憲司 2023「特別対談『民』へのまなざし——民藝と民俗学と民族学」『季刊民族学』183 千里文化財団へ掲載

#### [資料貸出]

- 「レディワシントン号」（紀州小山家文書）を、外交史料展「外交史料と近代日本のあゆみ」より（1）——幕末維新前期和歌山の外交関係——にてパネル展示（2022年5月13日～8月11日）
- アチック写真5点を、DVD『奥南部漆物語』日本遺産奥南部漆物語推進協議会にて提供し、ツーリズム・博物館等で上映
- アチック写真1点を、国立アイヌ民族博物館特別展示「CHIRI MASHIHO 知里真志保——アイヌ語研究にかけた熱意——」にてパネル展示（2022年6月25日～8月21日）
- 「首里城の図」（琉球沖縄本島取調書）を、法政大学沖縄文化研究所創立50周年記念 HOSEI ミュージアム企画展「沖縄を知り、考え、つながる」HOSEI ミュージアム、沖縄県立博物館・美術館にてパネル展示（2022年5月13日～8月26日）
- 映像資料「飛鳥と津軽半島」の一部を、神奈川大学国際日本学部丸山泰明ゼミナール研究発表展示「再訪・津軽の旅」にて上映（2022年12月2日～13日）
- 映像資料「田澤 仙岩峠 澤内」、「イタヤ細工 製作者 渡部小勝君」を、秋田県立博物館秋田の先覚記念室企画コーナー展「武藤鉄城——秋田の考古と民俗学——」にて上映（2022年9月24日～11月27日）
- 映像資料「十嶋鴻爪」の一部を、毎日放送「映像'22 奄美人骨を追って——昭和初期・人類学の“戦利品”——」にて放映（2022年11月27日）
- 映像資料「青淵先生御葬儀 I」「男鹿、能代、藤琴、石神、八戸」「越後三面行」「十嶋鴻爪」「塩鮎」「隠岐之島景観」「三河地方旅行」「古志群竹沢村角突」の一部を、NHK BS プレミアム「もうひとりの渋沢——栄一の孫・敬三が挑んだ改革——」にて放映（2023年2月3日）
- 映像資料「十嶋鴻爪」を使用した、KTS 鹿児島テレビの番組「ドキュメント九州 汽船もまた道なり～第7代村営定期船「フェリーとしま」の最終航海」（2018年6月放送）を再放映（2023年3月14日）

#### [出張]

- 川田順造研究資料の搬出 2022年6月19日 泉水英計・高城玲
- 静岡県熱海市長倉家へ寄託手続き 2022年10月1日 静岡県熱海市 関口博巨・泉雅博
- 渡部つとむコレクション搬出 2022年11月26日・27日 福島県立博物館 昆政明・加藤友子
- ミズキ漁の漁具調査 2022年12月5日 神奈川県横須賀市 安室知・越智信也

#### [新収蔵資料]

- 渡部つとむコレクション 493点
- 川田順造研究資料 40箱
- 手ぬぐい 120点

#### [所蔵資料整理に関する業務]

- 日本常民文化研究所所蔵資料（運営資料、古文書、小絵馬、松村雄介石造物資料、漁場図他）（通年）
- 資料配置替え作業（2023年3月）

#### [資料委員会会議日程]

日 程					
第1回	2022年4月13日	第5回	2022年9月14日	第9回	2023年1月11日
第2回	2022年5月11日	第6回	2022年10月12日	第10回	2023年3月8日
第3回	2022年6月8日	第7回	2022年11月9日		-
第4回	2022年7月13日	第8回	2022年12月14日		-

※オンライン会議